

今期のクラブトピックス

関西クラブ

会長 八木美恵子

今回「おくりびと」がアカデミー賞外国語映画賞を受賞され、日本中がこの快挙に湧いた同時期に「エンジョ



イ シネマ」というプログラムがクラブで既に企画されていたという偶然の一致に驚きました。会員は個々に「おくりびと」を觀賞し、スピーカーは粗筋と自分自身の論評を話しました。文化や民族を超えた人間の普遍的なテーマである死と隣接した納棺師という職業を通じて家族関係や夫婦愛等、涙と時にはユーモアもこめられたこの作品の奥深さを味わい、日本映画のレベルの高さに感動した一時でした。他にアメリカ映画「七つの贈り物」が紹介され、これも信じられないような息を飲むストーリーの展開に圧倒されました。是非一度ご覧ください。

芦屋クラブ

会長 中島由美子

11月には11名のゲストをお迎えし、初めに昨年のリージョンスピーチコンテストで優勝された広瀬忠子様の



スピーチ「春色のジャケット」のCDを聴かせていただきました。その後、ご本人からスピーチの組み立て方、勝ち進むほどに推敲を30回以上重ねて、何度も何度も繰り返し自然に聞こえるようになるまで練習されたとお話を伺い、誰もが驚き、納得した素晴らしい勉強の機会になりました。プログラムでは源氏物語千年紀に因み、会員による「源氏物語」の解説と若紫や光源氏の色紙絵を披露、工夫した源氏香図遊びで優雅な源氏の世界についての知識を増やし、盛り沢山の楽しく充実した例会でした。

西宮クラブ

土川邦子

今期、新入会員が3名あり、西宮クラブ会員数は現在17名、内男性会員が4名となりました。



また、今期のプログラム委員長がITC歴4年の30代男性会員であることから、プログラムの内容は従来とは一味違い、中には画期的とも言えるものもあり、毎回、驚きと予想以上の盛り上がりを見せ、大変充実したものとなりました。

期の初めに委員長が述べた今期目標「ITC本来の目標と指針に沿って今期は野外例会を慎み、屋内(例会場)で専らスピーチの訓練を行ない、コミュニケーション技術を磨きます」も、今期の特徴であったと思います。

1月はリサーチスピーチ「特許で大儲け」から始まり、ラウンドテーブルディスカッション。テーマは「商品開発」。独創的なアイデアを出し合った後、企業の開発室さながら、アイデアから商品化

へ、そして商品販売戦略に至るまで熱いディスカッションを行いました。

4月は「模擬結婚式」新郎新婦の複雑なバックグラウンドを設定し、出席者全員によるロールプレイ。様々な役になりきって、全員が一人2分のキラッと光るスピーチを行ない、式は大いに盛り上がりました。

姫路クラブ

会長 三木千春

今期は、テーマ「磨こう！バランス感覚」のもと、12月に「書くを楽しむ」として童話作家の尾崎美紀先生



をお迎えし、会員が書いたエッセイを添削して頂くという新しいプログラムを行いました。

お話ではエッセイの構成は、スピーチの組み立てと同じということでした。先生からは、同じ内容を繰り返したり、思い込みによる説明不足の点などを指摘され、添削によってエッセイがみるみるともスッキリとしたものになっていくさまに、会員も時間を忘れて学びました。また、先生はビジネスもご覧になり、規律正しい会の進め方の中にも柔軟性やユーモアがあり、とても良い会です。ねとのお褒めの言葉まで頂いた充実した例会でした。

尼崎クラブ

会長 鎌田年子

期が始まって3カ月目の11月、メディアや講演にご活躍の弁護士、相馬達雄氏をお迎えして大きな例会を開催した。



「女の法律」をテーマに柔和なお顔立ちから発する太い声で、女性・家庭に役立つお話をユーモアを交えながら解り易く語られ、会場一杯に埋められたゲストの皆さんにも大変満足して帰って頂いた。又、12月例会はロシアの留学生に、「ロシアのクリスマスとお正月」と題してスピーチをお願いした。とても流暢に綺麗な日本語で語りかけ、終始笑顔を絶やさない彼女の話し方には得る所が多かった。得意なケーキをご馳走になり、異文化を知る楽しい例会だった。

舞子クラブ

会長 上宮さゆり

舞子クラブは少人数ながら、新しいことにもチャレンジしつつ研鑽を積んでまいりました。4月のプログラムは、「観桜 歴史を訪ねて」で京都御所を参観



しました。

4月13日(月)一般の観光客と一緒に、一時間の参観コースを職員の案内で見学しました。折しも天皇后両陛下のご成婚50周年と重なり、とても興味深く、平安時代の宮廷の生活に思いを馳せながら、悠久の歴史を感じた一日でした。舞子クラブのメンバーが、最後の華やぎを残して咲くコヒカン桜に勝るとも劣らぬ優雅さを添えていたのは、言うまでもありません。参観後は「とらや」で甘味を楽しみ、満たされた時間を過ごしました。

しらすぎクラブ

第一副会長 萩原 貴子

4月例会で「お茶をたしなむ」というプログラムで茶道を体験しました。



クラブの例会場「イーグレひめじ」は姫路城を一望のもとに見渡す絶好のロケーションでもあり、桜は散ってしまいましたが、朝方の雨に洗われた木々の緑の美しさ、遠く靄が懸かった山々の絵のような素晴らしい景色もプログラムに華をそえてくれたように思います。

お二人のご指導者にお越しいただき、お運びや水屋は会員が担当いたしました。お客様にはカウンスル会長の津田由貴様、クリスタル神戸会長の横山末子様をはじめ、たくさんの方にお越し頂き、茶道の心得を学ぶことができました。

「お茶席が、少し身近になったわね」との声も多く聞かれ、実りあるプログラムだったと思います。

ポート神戸クラブ

会長 中井恵俐子

花吹雪が舞う4月10日、神戸地方裁判所にて4月例会は始まりました。



プログラム第一部は神戸地方裁判所の広報課の係の方の案内で法廷に入室し、裁判長、裁判員、検察、弁護士、被告人席、傍聴席、記者席、等々 それぞれの席にてビデオを鑑賞いたしました。

実際裁判が行われる場所に入るのは初めての方がほとんどで、厳粛な気持ちで説明を受け、その後、質疑応答の時間もあり、参加者は裁判員制度に対してとても関心がある様子が伺えました。

その後は、裁判官の法衣を着せて頂き ハイ！ポーズ！！ 記念撮影もできました。

プログラム第二部は アステップ神戸にて「裁判員制度」を想定して『模擬裁判』を行いました。『模擬裁判』は裁判官、検察官、弁

護人、被告人、被疑者もちろん裁判員のお役もありゲストの皆様にも裁判員の体験をして頂きました。

芝居上手なメンバーが被告人、証人、裁判長等になりきって演じました(役者やなー！)

『私の視点、私の感覚、私の言葉』で興味深い『裁判員制度』を勉強できた事は、私たちITCメンバーにとって、新しい企画でした。

そしてゲストの皆様喜んで頂き、共に有意義な時間を持つことができた4月例会となりました。

淡路クラブ

会長 瀬尾千恵子

淡路クラブ9期の例会も、いよいよ後半。3月の例会は、皆が待ちこがれているバザー。



今は、例年のごとく楽しみのプログラムになっています。会場作りも皆のアイデア、行動力にてレイアウト。この日は多勢のゲストの方々もお越しくださり、会員と共にわくわく、ドキドキ、今か今かと始まりを待っています。会員手作りのパン、おはぎ、自作の野菜、花、海産物、また、洋服から電化製品、小物まで、あちらこちらから歓喜の声が上がります。「この野菜は、サッと炒めるとおいしいよ」また「おひたしもいいネ」と主婦の顔にもどるひとこまも。こんな楽しい一時を過ごせるのもITCに出会い、皆様と出会えたから。こんな楽しいクラブ、一度淡路クラブにもお出かけください。

クリスタル神戸クラブ

第一副会長 高山敦子

ご覧下さい。この写真を！まさに旬女の集いです。



横山会長は心に煌めく宝石のような輝きを持って会員を優しい言葉と友愛で包みます。リズム感あふれる凛とした指導力が例会の雰囲気を活発に盛り上げ、その裁量に会員は満足しています。

わがクラブは12クラブ3カウンスルから成る“コスモポリタン”クラブです。自慢のプログラムはオバマ大統領勝利宣言スピーチを生で聴き、彼の歴史や名演説者としての訳などをリサーチしたこと、また去年の10月にサンフランシスコで行われたアーネステイン・ホワイト女史の70周年記念会合でのITCが

できるまでのドラマを日英語で再現したことです。プログラムはタイムリーな話題性を重要視すること。これは他クラブに負けません エッヘンです！